



市議会だより



7月4日(水)滑川高校生との懇談会を開催しました。

***** 平成30年6月定例会一覧 *****									
合 計		○議案の審議結果		○委員会		○本会議(主な内容)		開会	閉会
		予 算 (原案可決)	12・13日 議会運営委員会	4・12・13・18日	18日 議員長報告・質疑・討論・採決	4日 会期の決定	提案理由説明	6月4日	6月18日
		条 例 (原案可決)	16日 産業厚生建設委員会		議員派遣	補足説明	代表質問・一般質問	会期15日間	
		その他(原案可決)			閉会中の継続審査		一般質問		
		その他(原案承認)					議案の委員会付託		
		陳 情 (不採択)					委員長の報告・質疑・討論・採決		
							閉会中の継続審査		
14件		3件							
		1件							
		2件							
		6件							
		2件							

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。

滑川高校生と滑川市議会議員の懇談会を開催しました。



議場見学の様子

7月4日(水)午後3時30分から滑川市役所3階大会議室において、滑川高校生と滑川市議会議員の懇談会を開催しました。これは昨年から開催しているもので、昨年は議会編集委員との懇談でしたが、今年は全議員が参加して行いました。滑川高校からは20名の生徒の皆さんに参加していただきました。参加人数が多いため、4つのグループに分かれて懇談を行いました。皆さん、最初は緊張していた様子でしたが、自己紹介、議場見学、グループでの懇談と進むうちに、滑川市議会のイメージや、議会の活動をもっと若者にアピールするにはどうすれば良いか、中滑川駅跡地の利活用について等、予定していた時間を超え、活発な意見交換がなされました。

◎市議会のイメージは？

- ・堅い、難しい
- ・何をしているのかわからない
- ・地元の議員がわからない
- ・滑川市を良くしようとしている

◎若い人に市議会に興味を持ってもらうためには？

- ・やっていることをもっと発信すれば良いのでは
- ・若い人に向けた何かをすれば良いのでは
- ・高校へ来て話をしてみればどうか
- ・若い人からの要望を聞く

◎滑川市の将来について

- ・豊かな自然を残して欲しい
- ・伝統的なことを続けて欲しい
- ・遊ぶところが欲しい

◎中滑川駅跡地の利活用について

- ・気軽に食事ができる場所
- ・バスケのコート
- ・コンビニカスーパー

- ・勉強ができるスペース

◎18歳選挙権について

- ・誰でも運動や遊びができる施設
- ・17歳から選挙についてアピールすれば良いのではないか

◎その他

- ・子どもサミットの成果を示して欲しい

※懇談会の詳細については、後日市議会ホームページに掲載予定です。



Aグループ
杉森風太さん・砂子創知さん
石坂亜蓮さん・小出杏柚奈さん
川崎里菜さん
高橋議員・岩城議員・竹原議員
大浦議員



Bグループ
萩原麻衣さん・辻角竜慈さん
森川いちかさん・水野成慈美さん
前田柊斗さん
中川議員・原議員・角川議員
脇坂議員



Cグループ
長谷河深優さん・松井美桜さん
大西啓介さん・山本梨乃さん
佐藤李玖人さん
開田議員・尾崎議員・青山議員



Dグループ
臼澤歩美さん・木下玲寧さん
古谷真珠さん・上田水流さん
牧野莉奈さん
浦田議員・古沢議員・大門議員

6月定例会

本会議

◇6月4日に本会議を開き、まず会期を18日までの15日間と決めた後に、平成30年度一般会計補正予算や平成30年度下水道事業会計補正をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案9件及び報告3件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行った後、市長提出議案及び陳情3件を所管の各常任委員会、議会運営委員会へ付託しました。

◇最終日の18日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

9議案は一括して採決され、各常任委員長及び議会運営委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。その後、陳情3件の採決があり、いずれも不採択となりました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会としました。

常任委員会・議会運営委員会での審査(主な質疑等) 各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

■総務文教消防委員会

付託された4議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定いたしました。陳情第4号については、賛成少数で不採択すべきものと決定いたしました。陳情第6号については、賛成なしで不採択すべきものと決定いたしました。

☆地方自治法第179条による専決処分
の承認を求めることについて

問 この改正により個人市民税で新たに非課税になる方をどれだけと見込んでいるのか。

答 平成30年度の課税に置き換えた場合、障害者等の合計所得金額要件を10万円引き上げた分、57名で113万5千300円の減税。均等割及び所得割の非課税基準を10万円引き上げた分、735名で268万7千500円の減税と見込んでいます。

この他、委員から「放課後児童育成クラブの支援員が不足していると聞いているが、夏休みには利用児童数が増えることから、雇用条件などを見直し、夏休み前には体制が整うようにしていただきたい」との要望がありました。

陳情第4号及び陳情第6号については、6月12日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。6月13日の審査においては、市当局より、陳情第4号については「印刷機は各々の施設で必要な印刷物を印刷するために設置しており、個人的なものは市内民間会社を利用していただきたいと考えている」との、陳情第6号については「住民投票制度は、市民が市政に直接参画する有効な手段のひとつと考えるが、偏った情報によって市民が冷静に判断できなくなる可能性などが懸念される。本市の市政は市民が真ん中にある市政を心がけており、また、市民の間で住民投票条例に対する機運の盛り上がりも見られないことから、条例の制定は考えていない」との見解が表されました。

■産業厚生建設委員会

付託された7議案につきましては、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定いたしました。

☆平成30年度滑川市一般会計補正予算(第1号)について

問 ほたるいカ観光施設設備充実費について、非常用放送設備更新工事とあるが、詳細な説明を。

答 ほたるいカミュージアム、農林水産加工展示販売施設、深層水体験施設タラソピア、レストラン光彩、これらで火災があったときの、非常用放送設備の基盤の経年劣化が著しいということで、更新を行うものである。あわせて放送用設備の基盤の取り替えに伴い、複合の火災受信機の基盤についても取り替えを行うものである。

問 歩道整備費700万円について、どのくらいの距離を整備するのか。

答 滑川富山線の線路側歩道の整備であり、小泉踏切から寺家踏切の間200mの区間について、街路樹とあわせて舗装の整備を行う。街路樹のプラタナスが老木となり、風等で倒伏のおそれがある。横には線路があるので、今回、重点的に予算計上した。

問 街路樹の種類は変えるのか。

答 あまり大きくならない樹種を検討している。

問 海洋深層水トマト栽培事業費について、1千620万円はパイプハウス建設費の全額を補助するのか。

答 考え方としては1千620万円で事業全体をやるうとしていた。今後、不足があれば経営体で負担ということになっている。

答 (上田市長) 深層水トマトを本格的にやるうということで、応募していただいた農家が主体となるが、市

の事業という性格だということを申し上げておきたい。

問 コミュニティバスについて、具体的にどのようなバスに入れ替えをするのか。

答 現行と同様29人乗りだが、冬場山間部等を走るので、四輪駆動のバスにしたいと考えている。バリアフリー対応、ラッピングも行いたい。

☆滑川市東福寺野自然公園条例の一部を改正する条例の制定について

問 パークゴルフ料は無料になるが、入園料はどうなるのか。パスポートの返還があった場合の返金はどのようなのか。

答 入園料については、今回変更はなく、あくまでもパークゴルフの無料化である。パスポートの返金については、7月1日以降の無料になる部分について、日割りで計算し、予算計上している。

議会運営委員会

陳情第5号については、6月12日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行うことを決定しました。6月13日の委員会において、慎重審査の結果、陳情第5号については賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。

陳情者から趣旨の説明を受けた後に、議員間で協議を行いました。委員から、「議会の費用弁償につい

て、全国的にも見直しをされている。議会改革の観点からも廃止すべきと考えている。」といった意見や「議員報酬が平成15年から7%削減されている。報酬とあわせて考えるべきである。」といった意見、「議員は市役所へ来る間でも、自分の車で地域をまわって、様子を見たり、聞いたりしており、これも議員としての仕事である。単にバスを利用すればよいということではない。」という意見、「費用弁償はいずれ見直すべきであると考えるが、この陳情の趣旨に賛同することは難しい。」といった意見が出されました。

日誌

30年5月

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

中滑川駅周辺整備検討

特別委員会協議会

公共交通問題検討特別

委員会協議会

15～17日

総務文教消防委員会行政視察

(佐賀県鹿島市、嬉野市、大町町、神埼市)

17日

富山高山連絡道路整備促進

期成同盟会

富山外郭環状道路整備促進

期成同盟会合同総会

25日

総務文教消防委員会協議会

26日

東京滑川会総会(東京都)

28日

議会運営委員会

富山県日韓友好議員連盟

理事会(富山県)

29日

富山県選出国会議員との

懇談会(東京都)

30日

全国市議会議長会第94回

定期総会(東京都)

31日

定例議員協議会

広報広聴委員会

6月

6月定例会

全員協議会

議会報編集委員会

産業厚生建設委員会行政視察

(島根県松江市、美郷町、江津市、大田市)

北朝鮮に拉致された日本人

を早期に救出する富山県議

員連盟理事会・総会・講演

会(富山県)

日中友好富山県地方議員

連盟理事会・総会(富山県)

中滑川駅周辺整備検討

特別委員会協議会

滑川高校生との懇談会

日台友好議員連盟理事会、

総会、講演会(富山県)

関西滑川会総会(大阪府)

日韓中友好富山県地方議員

連盟理事会、総会、講演会

(富山県)

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

議会報編集委員会

11日 栃木県那須町より行政視察

23日 朝日滑川間国道・バイパス

建設促進期成同盟会

通常総会(魚津市)

東部山麓道路建設促進

期成同盟会総会(魚津市)

25日 三市議会議員研修交流会

(黒部市)

30日 岐阜県中津川市・恵那市

より行政視察

代表質問

6月定例会では13名の議員が質問を行い、39項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください)

※議員名の右にあるQRコードを読みこむと、各議員の質問動画をご覧いただけます。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



1 観光遊覧船キラリンについて
2 部活動指導員について
(会派＝会派自民) 岩城 晶 巳 議員



Q 滑川市はたるといかに海上観光、8年ぶりの2隻体制で、5月6日に終了した。累積乗船者数が1千478人で1千人を上回ったのが4年ぶりであった。2隻体制で問題、反省点もあったのではないかと。平日の乗船率がよくないと聞くが、価格を下げるなど特典を与えるなど何か考えればどうか。

A 網谷観光課長 平日であっても、4月中旬からはほぼ満席になっており、乗船率が低かった3月と4月上旬の平日については、早期からのPRができなかったことにより乗船率に影響していると考え。料金を下げることは考えていないが、おもてなし部分を充実すること、早い時期からのPRにより乗船率の向上を図ってまいりたい。

Q 富山湾岸クルージングとはいえず、今の状況では、他市へは行けない。いつごろから市外のほうにクルージングができるのか。

A 網谷観光課長 今後の予定については、随時新たな航路申請を行い運航したい。氷見市と連携した観光事業を実施するための航路申請を行いたい、ほかの航路も検討し、富山湾の魅力を発信してまい

りたい。

Q 滑川市で採用する部活動指導員2名は、滑川中学と早月中学で1名ずつ種目は何を担当するのか。指導員の方々は誰がお願いするのか、待遇はどういうふうになるのか。これから要望があれば増員していくのか。賃金は全国的にみても滑川市の提示している金額なのか。

A 伊東教育長 滑川中学校ではソフトボール部、早月中学校ではバスケットボール部にそれぞれ配置する。指導員については、中学校からの希望により人選し、教育委員からお願いする。非常勤の学校職員として位置づけしており、単独での部活動指導や大会引率等も含めて教員の負担軽減になるように各種業務を担当する。年間210時間を上限として、1日2時間、週3日、1年間35週を基本とする。増員については、実績、効果等々を検証し、補助を含めて検討したい。賃金は他の非常勤職員の賃金等も考慮したものとしている。

その他の質問

- ・養鶏場建設問題について
- ・有害鳥獣対策について
- ・学校周辺整備について

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 今回の補正予算について
2 国民健康保険について
(会派＝日本共産党議員団) 古沢 利之 議員



Q 当初予算は準骨格予算とし、主要な新規事業は今後の補正予算で具現化するとされた。何が具体化された補正予算なのか。

A 上田市長 海洋深層水トマトのブランド化への生産支援、行田公園駐車場の拡張、東部小、西部小の駐車場用地の取得などである。

Q 議員時代と、市長8年間を通じて集大成の4年間とされた。今後の具体化にむけて、念頭にあるものは何か。

A 上田市長 2期8年でハード面の整備はおおむねできた。今後はソフト事業を中心に組みたい。滑川市の国民健康保険税は、県内市町村平均を上回って、高い方から7番目となっている。その認識はあるか。

A 石坂産業民生部長 平成28年度の本市の国保税一人当たりの調定額は、9万5千717円で県内市町村平均より2千265円高くなっている。

Q 一人当たりの診療費は県下で最も高い一方で、受診率は下位になっている。重篤になってからの受診が多いのではないかと。早期受診を勧奨すべきだ。

A 石坂産業民生部長 一人当たり

の診療費は県内で最も高くなっている。今後も重症化を予防するため、医療機関と連携して取り組んでいきたい。

Q 国保税が高いと再々指摘してきた。他の医療保険と比較してどう認識しているか。

A 石坂産業民生部長 保険料の負担率は市町村国保が10%、協会けんぽは7・6%、組合健保は5・8%となっている。市町村国保は加入者の平均所得が低く、負担率が高くなっている。

Q 国保の保険税は課税所得に対してかかる所得割、一世帯当たりの平等割、被保険者一人当たりの均等割で計算される。均等割は子どもにもかかる。均等割は他の医療保険にあるか。

A 石坂産業民生部長 他の保険にはない。

Q 収入のない子どもへの均等割を軽減するよう検討すべきだ。

A 石坂産業民生部長 現時点で市独自に子どもの均等割の減額は難しい。国に対して、軽減する支援制度の創設を市長会から要望している。

その他質問 ・生活保護の見直しに関連して

一般質問



4 3 2 1

東福寺野自然公園の利活用について
有害鳥獣被害防止対策について
国営施設応急対策事業について
立山黒部ジオパークの活動について

浦田 竹昭 議員



Q 今年度が青雲閣の管理運営方針の決定年度であり、また、3月定例議会にて、建て替えを明言されたところであり、いつごろまでに決定の策定ができ、これまで議論、検討されているのかを問う。

A 地崎生涯学習課長 30年度末までには決定することとしており、財源確保の方法、他市町村の研修施設の管理、新築策に関する情報収集等、準備を進めている。

Q イノシシの侵入を山際で遮断する方法として、侵入防止柵を横方向に設置するよう行政主体となつて計画、実施できないかを問う。

A 成瀬農林課長 侵入防止柵の設置計画は、有害鳥獣対策協議会において、地域住民からの設置要望を取りまとめ作成している。

Q イノシシ捕獲後の解体処理施設の設置について問う。

A 成瀬農林課長 上市町に獣肉処理施設があり、その施設の活用を図っていききたい。

Q 国営施設応急対策事業「早月川地区」に伴う農振除外について、平成31年度重点事業に関する要望の要件緩和について見解を問う。

A 岡野企画政策課長 市内全域が

農振除外の規制を受けることから、農業用排水路施設の変更であつて従前の機能の維持を目的とする事業については、規制対象となる土地改良事業等から除外するよう要望する。

Q 農振法施行規則第4条の5第1項第27号の地域の農業の振興に関する地方自治体の計画の策定予定は。

A 成瀬農林課長 通称27号計画については、具体的な案件が段階で国や県と調整し同意を得て策定する。

Q 農村地域への産業の導入の促進等に関する法律第5条第1項の実施計画の策定についての見解は。

A 長崎商工水産課主幹 本法律の実施計画については、既に策定済みであり、今後、企業進出の際には、適切に対応していきたい。

Q 大変素晴らしいジオパークの滑川版副読本が発行されたところであり、故郷教育として、小中学校での活用方法について問う。

A 石倉学務課長 小学校5年生の科学の時間を中心に活用し、滑川の地形の特徴、自然と歴史・文化について学ぶために活用する。

一般質問



3 2 1

ほたるいか海上観光について
海洋資源について
都市計画について

大門 良輔 議員



Q ほたるいか海上観光が今年度から2隻体制となり、例年より多くの方が滑川に訪れたわけだが、滑川に宿泊する割合はどうだったのか伺う。

A 網谷観光課長 例年は宿泊とセツトの乗船券の販売割合は3割を超えていたが16%と例年より宿泊者数の割合は低かった。

Q ほたるいか海上観光で滑川に訪れてそれで終わりではなく宿泊やお金を落とす仕組みを確立していただきたいが、今後どのように進めていくのか伺う。

A 網谷観光課長 今後、来年の体制と方針が決まり次第、関係者と十分な協議を行ったうえで、より早い時期の周知、PR、連携を固めていきたい。

Q 滑川市の一番の誇りである光るほたるいかを見ずに大人になっていく子どもが多く、子どもたちにはこの一番の誇りを胸に大人になつてもらいたい。授業の一環で小学校が申し込めばほたるいかミュージアムを無料で来館できると伺っているが、実績はどうか伺う。

A 網谷観光課長 29年度の実績は1校の68人の小学生がこの制度を利用した。

利用した。

A 伊東教育長 今年度は4校がすでに予定している。28年度からクルージングや水産研究所の見学等を各小学校の授業の一環として入

れており、大変多岐にわたっている。できれば一緒に回ればいいのだが、時間的な都合もあり現状のようだが、ぜひ進めていきたい。

Q 中滑川駅周辺跡地は今年度、基本構想を取りまとめ事業が動き出したわけだが、完成はいつ頃めざすのか伺う。

A 石井まちづくり課主幹 整備内容とともに、財源について国の交付金や補助金を模索していることから、現段階で明確な時期を示すことはできないが、できるだけ早い段階で整備に着手できるよう努めていきたい。

A 上田市長 地元や近隣の利用される人たちの意見を優先していきたいと思っている。また都市計画法は3%の公園地が決まっているのに田中新町には緑や公園がないできればこの地区の中において一部公園化し、ゆつたりと心癒せるものも入れていかなければいけないと考えている。

一般質問



1 市営住宅の入居状況について
2 市有土地（空地）の有効利用について

高橋 久光 議員



Q 地域の活力は、高齢化が低く人口が多いこと、我が市は人口の減り率は比較的小さい。活力ある地域づくりは、人が安心して住める、若い人が住んで子どもを生み育てる環境が整備されている、働く場所があることが大事と思っている。そこで市営住宅、全戸418室の入居状況を伺う。

A 石井まこと（課主幹） 現在低所得者向け167戸、中堅所得者向け、特定公共賃貸住宅32戸、入居率は84・9％となっている。

Q 雇用促進事業団から引き継いだ上小泉、北野、吾妻の3カ所の入居率はいくらか。

A 石井まこと（課主幹） 平成26年4月から市で管理運営している219戸の平成30年3月末時点での入居率は50・2％となっている。

Q 現在、50・2％というたいへん将来が心配される。担当課としてどのように思っているか。

A 石井まこと（課主幹） サンコーポラス上小泉の2棟は5％ほど入居率はアップし、サンコーポラス吾妻と北野は1％上がっている。要因として地理的なものも考えられる。この後またPR等に努め引

き続き入居率を上げていきたい。

Q 滑川市は、市民1人当たりの工業出荷額が県内トップ、そこで市民、住民の人たちに対しその相乗効果は、直接目で見える実感は少ないのではと思うがどうか。

A 石井まこと（課主幹） 滑川市は転入のほうが多く平成28年度で79人、29年で48人増加となっており、新設住宅着工戸数でも増加傾向にあり相乗効果が出ているのではないかと推測している。引き続き企業のほうにPRしていきたいと考えている。

Q 市有地、旧市営住宅跡地、滑川駅前跡地は今後どのような計画が進んでいるか。

A 上田市長 駅前については、最初に厚生連滑川病院の計画がたつた。駅からの至近距離ということで、ホテル、マンション等民間の協働で事業をするという方法も模索しているが最終的には乗っ取れない。滑川にやっぱホテルが欲しい、企業の皆さんに聞いたところ滑川に料亭がない、接待する場所が中途半端、これが本音、このテーマは皆さんと一緒に考えさせてもらいたいと思っている。

一般質問



1 滑川駅前住宅跡地について
2 東福寺野自然公園研修センターについて

大浦 豊貴 議員



Q 滑川駅前住宅跡地について現在までの経過状況は、公共施設建設は選択肢がなく、あくまで宿泊施設、集合住宅等を含め民間事業者への売却、賃貸等での検討過程か。

A 石井まこと（課主幹） 市が主体となった公共施設整備は今のところ考えていないが、民間の資金やノウハウを活用するPPPといった官民連携による事業実現は可能性があると考える。

Q 都市計画マスタープランでも住環境創出拠点と位置付けられ、住宅開発は効果的だと考えるがどうか。

A 石井まこと（課主幹） 住宅開発も有効だと考えているが、にぎわいを創出できる利用が出来ないか考えている。

Q 東福寺野自然公園研修センターの利用状況を踏まえて運営評価はどうか。

A 地崎生涯学習課長 利用者は平成27年4千968人、平成28年4千881人、平成29年5千550人と増加傾向にあり指定管理者の営業努力により利用促進PRやパークゴルフはじめ、バーベキュー施設、文化施設とあわせて増えていると考えて

いる。
Q 収益、管理費を踏まえての経営評価はどうか。

A 地崎生涯学習課長 平成27年度収益677万5千円、管理費2千315万9千円、平成28年度収益735万7千円、管理費2千390万4千円、平成29年度収益908万3千円、管理費2千793万8千円であり、利用客増により収益増加の一方で人員体制の強化とサービス向上のための人件費、老朽化による修繕費が増加している。

Q 耐震補強工事費、施設建替えとなった場合の建設費見込みはどうか。

A 地崎生涯学習課長 平成27年10月徴収した見積もりでは、研修棟体育館の耐震補強工事費は1億7千901万円、建てかえ工事費は6億5千530万5千円という見込みである。

Q 整備当初とは、社会構造、市民ニーズが確実に変化しているが、利用需要は今後も見込まれ、持続可能と考えているか。

A 地崎生涯学習課長 引き続き多くの方々に利用されるよう、魅力ある利用方法を検討していく。

一般質問



角川 真人 議員

- 1 消雪装置の点検について
- 2 コミュニティバスについて



Q 昨シーズンの降雪は近年にない降り方だったが、瀬羽町近辺では消雪装置が動かず大変な苦勞があった。いつ頃動かせないと把握されたのか。

A 岩城建設課長 1月24日に地元の方から連絡があり、県に問い合わせた状況把握した。

Q この道は県道のため管理は県が行っているが、降雪前の点検で把握できなかったのか。点検はいつ頃だったのか。

A 岩城建設課長 11月に電気設備や動作確認などの点検が実施された。その時点では異常は認められなかったとのことである。

Q 他の地域の消雪装置では、老朽化などの不備は見られていないか。

A 岩城建設課長 毎年11月に点検を行い、適正な管理に努めている。

Q 6月補正予算の中に老朽化したバスの更新として、バス購入費が上がっている。以前の答弁で小型のバスを更新に合せて検討するにあつたが、今回はどうだったのか。小型バス導入への検討そのものもどうなっているか。

A 黒川生活環境課長 今回は国の補助金を活用する予定で、現在と

同程度の車両に更新したい。小型車両の導入についてはアンケートでも要望があつたことから、今後策定する車両更新計画の中で検討していく。

Q デマンド交通について、今のバスと同時運行を考えているか。

A 黒川生活環境課長 具体的な検討はこれからだが、今バスが行っている所を廃止して、デマンド交通という形も一つ考えなければならぬと思っている。

Q 市民アンケートで寄せられた意見に対し、どのような改善や対策を行ったか。

A 黒川生活環境課長 高齢者にも見やすい文字を拡大した時刻表を、主要なバス停やエールなどの施設に掲示している。各家庭に配布した時刻表も若干文字を太くして見やすく改善した。

Q 待合所の整備を求める意見も多い。利用者の年代も高くなっている。腰を下ろせるものを設置できないか。

A 黒川生活環境課長 バス停に椅子というのは、その地区の町内会長等とも協議して、協力が得られるようなら連携して検討したい。

一般質問



開田 晃江 議員

- 1 子ども安全政策について
- 2 ねりんピックについて



Q 平成28年、通学路点検として、危険箇所の洗い出しが行われた。中学校区でも確認したのか。

A 石倉学務課長 平成27年度に通学路安全推進会議を設置して、安全プログラムを策定し、通学路の合同点検と交通安全教育を実施した。その時にできたプログラムに基づき、中学校区ごとに2年に1回通学と合同点検を行っている。

Q 中学校の自転車通学の生徒に通学路の設定はしてあるか。

A 石倉学務課長 通学路の設定はしていない。

Q 現在、各学校で下校時間や行事の連絡など、見守りの方々は必要な情報をどのように入手しているか。

A 石倉学務課長 多くの学校が、月末に行事予定表を代表の方を通して、案内している。今後も、学校安全メールや、警察安全情報ネット等の登録も勧め、必要な情報が入手できるよう努めていく。

Q 子どもたちの下校時の空白時間対策を何か考えているか。

A 石倉学務課長 見守りのいない空白の時間を完全になくすることは容易ではないと考える。学校安全

パトロール隊の登録者数も100名以上の増加となっている。子どもたちには、自分の身は自分で守ること、防犯ブザーを身につけることなど、安全指導をしていく。

Q ねりんピックのマラソン競技の参加人数は何人か。

A 澤口福祉介護課長 都道府県や政令指定都市の代表選手枠のほか一般募集枠もあり、総勢600名のランナーの受け入れを計画している。

Q マラソン競技のほか、特別メニューはあるか。

A 澤口福祉介護課長 血圧測定や健康相談などの健康づくり教室、競技のあと、本市の観光スポットを案内するミニ観光ツアーを計画している。

Q おもてなしの準備はどうか。市民の皆さんの協力が必要では。

A 澤口福祉介護課長 スポーツ・健康の森公園をスタート・ゴール地点に予定している。横断幕や、のぼり旗を設置する、また小旗も用意し、園児や保護者、市民の皆さんに盛大な声援を送ってもらいたい。また選手の皆さんには、グルメの森の海鮮鍋を無料で配布する。

一般質問



1 観光の改革について
2 発達障がいについて
3 駐車場について

青山 幸生 議員



Q タラソピアのここ10年間の委託事業費の累計額は幾らか。

A 網谷観光課長 5億1千291万9千365円となっている。

Q タラソピアの年間委託事業費約5千万円。しっかり利用している会員200名。毎年、1人当たり25万円プレゼントをしている状態になるが感覚としてどうか。

A 網谷観光課長 施設を利用していただくことが大切だと思っっている。金額には換算できない。

Q 観光の抜本的赤字体質からの脱却に向けてコンセプトは考えたか。

A 網谷観光課長 SNSを中心としたスマートフォン・タブレットを使ったものをコンセプトと位置づけテーマとして滑川で〇〇映えということ食、自然、景観、温泉を中心体験型を考えている。

Q 放課後児童クラブ発達障がい児も利用可能か。

A 落合子ども課長 クラブにおいて可能な限り受け入れに努めている。またきめ細かく対応できるように、支援員の配置基準で増員を認め、委託費を増額している。

Q 夏休み中に発達障がい児を預けられる場所はあるか。

A 落合子ども課長 放課後児童クラブのほか放課後等デイサービスの利用があると考えている。必要に応じて市外の事業所を利用する事も可能となっている。近隣市町村も同様の対応と認識している。

Q 両親が個人的に動かれて、放課後等デイの施設を探してきても受給者証を持っていないと利用すらできない。最初の時点で受給者証の存在を窓口で教えてくれないという意見を多数聞くが。

A 落合子ども課長 ご両親がたらい回しになることなく福祉サービスにつながるようにしていきたい。

Q 滑川市のヘルプマークの取り組みは。

A 澤口福祉介護課長 外見からはわからなくても援助を必要としている方々が、裏面に支援を記入しヘルプマークを着用するという簡便な方法だ。市民への周知に努め、希望者へ配布していきたい。

Q 西部小学校と東部小学校の用地購入により、増える駐車台数は。

A 石倉学務課長 西部小学校150台分、東部小学校は128台分を予定している。

一般質問



1 観光振興について
2 高齢者の福祉の向上について

竹原 正人 議員



Q 今シーズンのほたるいか海上観光における実績の評価と、来年以降の運航、おもてなしについてどのように考えているのか。

A 網谷観光課長 今年度のほたるいか海上観光は47日間の実施期間中、出航した日数は25日間で53%の出航率、1千478人の乗船者数となっており例年並みの出航率であった。次年度以降の課題としては乗船者数の増加であり、早い時期からのPRなど、平日の乗船者数を増やすことが重要と考えている。

おもてなしについては、記念写真やホテルイカの素干しのプレゼント、漁師さんの協力によるホテルイカの網焼きの提供が大変好評をいただいているところであり来年以降も引き続き実施していきたい。

Q ボイルホテルイカの振る舞いは。

A 網谷観光課長 再度検討する。

Q 湾岸クルージングについて、乗船料の値下げをし、波及効果をどう考え観光客を増やす取り組みは。

A 網谷観光課長 5月末までの1カ月余りで1千182人に乗船いただいております。波及効果としてレストラン

光彩や市内飲食店の利用も期待で

きることから、今後も観光客増加の1つの方法として、セット販売や割引サービスについて検討したい。

Q 屋内運動場、投てき場を含め、スポーツ合宿の誘致など、利用者を増やす取り組みは。

A 上田教育委員会事務局 今年度も夏季合宿について数件問い合わせをいただいている。今後は市体育協会のホームページ上のPRや陸上等各種競技団体へ積極的に呼びかけ、コンベンション等開催支援補助金の活用を含め利用者の拡大を図っていきたい。

Q 東福寺野自然公園条例の改正について、パークゴルフ協会等関係団体からの意見聴取、市内体育施設の利用料の軽減化について議論されたのか。

A 荒俣公園緑地課主幹 今回の条例改正は、高齢者の個人利用が多いパークゴルフ場の利用料金の軽減化を図るものである。以前からその都度、要望や意見を聞いていくことから、関係団体との意見聴取は行わなかった。他の体育競技について意見、要望が出てきたら関係課と調整し検討していきたい。

一般質問



4 3 2 1

子育て支援について
教育について
医療費の適正化について
東福寺野自然公園について

尾崎 照雄 議員



Q国は来年10月から、消費税増税と同時に幼児教育・保育の無償化を実施することになるが、市独自の子育て支援策は考えているのか。

A落合子ども課長 平成28年度から所得制限を設けず第2子以降の保育料無料化を給食費も含め実施しており、国に先駆けた子ども第一主義の滑川市独自の目玉政策ともなっている。引き続き子どもとその親のため、子育て支援策の充実に努めてまいりたい。

Q市内の全小学校、例えば5年生全員に必ず1回はイタイタイ病資料館での課外学習をするようにしてはどうか。

A石倉学務課長 資料館を見学しイタイタイ病を正しく知ること、環境と健康、産業の歴史を学ぶことにより、子どもたちが身近な問題として感じ、同じようなことを二度と起こさないために、それから自身が環境と健康を大切にするライフスタイルの確立や地域づくりに取り組むためにも大変意義あることだと考える。また学校のほうにも勧めていきたい。

Q糖尿病から透析に移行させないための取り組みが自治体に求めら

れており、本市としても糖尿病対策を強化する必要があるが、未治療者の方にどのように受診勧奨や保健指導を行っていくのか。

A結城市民健康センター所長 優先順位をつけて、保健師、管理栄養士が医療機関との連携を図りながら受診勧奨や保健指導及び訪問指導を行っている。

Q医療費の削減、抑制は喫緊の課題であり、残薬を減らし高齢者が重複なく服薬できるよう、薬局での取り組みを推進すべきと考えるが、当局の見解は。

A結城市民健康センター所長 医療費の適正化を図るため、市民に対して積極的にかかりつけ薬剤師・薬局を啓発するとともに、富山県薬剤師会中新川支部に対して、改めて薬局での残薬状況の確認を依頼し、残薬解消に取り組みたい。

Q東福寺野自然公園の入り口付近の看板を大きくわかりやすいものに、設置場所も含めて見直しては。

A荒俣公園緑地課主幹 早いうちに色やデザイン等も含めてわかりやすいものに更新したい。その他の質問事項

・公共施設管理について

一般質問



3 2 1

産業の振興について
観光・ふるさと龍宮まつりについて
職員の働き方改革について

中川 勲 議員



Q地域資源として新たに県の指定を受けた「海洋深層水トマト」の生産拡大・ブランド化をどう取り組むのか。

A成瀬農林課長 平成25年度から海洋深層水を活用した栽培方法を行い、品質の確立に努めてきた。深層水トマトの生産を拡大し、ブランド化を目指し、米だけに頼らない複合経営へのモデルにつながるよう努める。富山県では、重点農業者として選定し、富山農林振興センター、JA等の関係機関と支援チームを編成し、技術指導を実施する。

Q海洋深層水を活用した天日塩について今後の課題は。

A網谷海洋資源振興課長 気温や日照時間といった自然条件の影響を受け、品質の安定化が図りにくい、また、完成まで時間と手間がかかり生産量も限られる。一般的な塩と比較するとかなり価格が高くなる。引き続き詳細なデータの収集と作業の効率化を図り、新たな特産品となるよう努める。

Q滑川観光の県内外、首都圏、海外へのPRはしているのか。

A網谷観光課長 市ホームページ

を本年2月にリニューアルした際、多言語対応の観光専門サイト「トラベルなめりかわ」を構築して、海外を含めてPRしている。また、パンフレットの作成や首都圏や関西圏などに出向宣伝している。

Q職員の働き方改革で出勤退所タイムカードの設置は考えていないのか。

A膳尾総務課長 職員が出勤してきた場合、まず出勤簿に「判こ」を押す、昨年度から導入したグループウェアシステム、これは、職員同士の情報交換、スケジュール管理の他、出勤システムがあり、パソコンを操作して出勤・退勤の表示を行うもので、全職員の出勤退勤時間が全て把握できる。当面はグループウェアを運用する。

A上田市長 適正人数については滑川市は限界にきている。少ないことはい時代は過ぎていると考え、改革はそこにもあると思っている。また別の面では、仕事に追われて、若い人たちがデートの時間もないと困るわけで、かなり残業に無理がある状況であり、これから働き方改革の一環であるので、内部で検討して改善する。

一般質問



1 タラソピアについて 2 防災について

脇坂章夫 議員



Q タラソピアの位置づけ、運営の考え、現在の取り組みは。

A 網谷観光課長 世界初の海洋深層水利用の健康増進施設として地域活性化、交流人口増加を促進する観光施設として位置づけされた運営にあたっては広報やホームページ紹介のほか、ウェルネス通信で利用者の体験を紹介している。また現在は、介護予防教室、ヨガ教室等を取り組み施設の利用促進もしている。

Q タラソピアの修繕や改修費の予算計上について問う。

A 網谷観光課長 多くの観光客がミュージアムに来たときに、玄関口の一歩目立つところであり、当然、修理の必要性を痛感している。**Q** タラソピアの存続について問う。

A 上田市長 タラソピアは健康増進、介護予防を目的とした建物で健康寿命延伸都市の実現を目指している本市には、なくてはならない。利用者から足腰の痛みが取れた、歩行浴で筋力がアップした、休憩室をつくったため、皆さんと会話も楽しく気軽に休める等、大変うれしいニュースもある。また、存続について7千人の署名もある。

本体はしっかりしており、ここしばらく継続し上手に使用をしたい。壁の汚れ、塗装の浮いたところを直して乙姫様、ピッカとキラリンの絵も描き皆さんに見てほしい。**Q** 市内で土砂災害が予想される所の対策について問う。

A 岩城建設課長 市内に県指定の土砂災害計画区域や特別警戒区域がある。災害から市民の生命を守るため、土砂災害防止工事、危険の周知、計画避難体制の整備等を行っている。本江、大浦、蓑輪地区で県が砂防工事を実施した。本市ではハザードマップを山加積、東加積の全戸に配布した。

Q 防災資機材倉庫の管理者は。

A 下野総務課長 管理は共助の理念に基づき当初から地区にお願いしている。

Q 防災資機材倉庫の本体、収納機材は適正に保たれているのか問う。

A 下野総務課長 地区の皆さんで適正に管理されている。

Q 各地区の活用内容を問う。

A 下野総務課長 各地区の防災訓練の際に自分たちの装備品として活用していただきたいと考えている。

総務文教消防委員会行政視察

（5月15～17日）

◆佐賀県鹿島市（ICT活用教育アドバイザー派遣事業について）

◎鹿島市では、ICTを活用した教育を推進するために、電子黒板、公務用パソコン、デジタル教科書などを計画的に整備してきた。

佐賀県内で無線LANからの不正アクセスで個人情報漏えいしたことにより、セキュリティ対策の必要性を認識し、このアドバイザー派遣事業を利用し、学校内のネットワークシステムとセキュリティの安全性を確認した。安全性は低いとの結果だったが、情報漏えい対策の財源確保に苦慮し、なかなか対策が進んでいないとのことだった。滑川市においても、年々進化するICT、セキュリティ対策は重要な課題だが鹿島市と同様に費用の確保が課題となる。

◆佐賀県嬉野市（嬉野市公共施設等総合管理計画について）

◎嬉野市は、平成18年に、旧嬉野町と旧塩田町が合併した市であり、113ある施設のうち、築30年以上のものが4割を占めている。すべての施設を維持すると年35億円不足すると試算し、市の手差しが少な

い公共施設等適正管理推進事業債やふるさと納税などの財源を利用し、統廃合を進めていた。

滑川市においても、耐震化がされていない施設があり、それらの統廃合を進めていかなければならず、財源の確保の取り組みは参考になった。

◆佐賀県杵島郡大町町（小中一貫教育について）

◎大町町では、平成19年より学力向上、豊かな人間性と社会性の育成を図るため、小中一貫教育に取組み、小1～中3が同じ校舎で過ごしている。大町町では元々、小中1校ずつだったため、住民の理解も得られ、大きな支障もなく取組めたとのことだった。滑川市が取



嬉野市役所

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。



神埼市立千代田中学校

組むには、メリット・デメリットを熟慮し、住民間での機運の高まりが必要と感じた。

◆佐賀県神埼町（ICT利活用推進事業、教育ICT機器整備計画について）

◎神埼市では、すべての普通教室に電子黒板が整備され、中学3年生が一人一台タブレットパソコンが使えるようになっていた。授業を参観すると、教師は電子黒板と他の教材をバランスよく使い、生徒も楽しそうに、また、集中し授業に取組んでいた。佐賀県がICT教育を推進していることもあり、先生の異動があっても授業の質が落ちないとのことで、これはICT利活用の研修などソフト事業に

力を入れた結果とのことだった。滑川市でも整備した機器を有効に活用するためにも、ソフト事業の重要性を感じた。

産業厚生建設委員会行政視察
(6月27～29日)

◆島根県美郷町（鳥獣害対策について）

◎美郷町は山林面積が広く、イノシシの駆除頭数は狩猟期間である11月～2月を除いた、3月～10月で平均約300～600頭で、昨年は436頭、一昨年は664頭だった。従来、有害鳥獣の対策は猟友会が担っていたが、猟友会はなくまでも狩猟のための団体で、支部ごとに考え方が違ったり、縄張り意識が強い、冬の猟のために夏の駆除を嫌がる、なにより被害対策のための団体ではない。被害者は農業者であり、「農業者が立ち上がって対策を」ということで、免許を農業者にとってもらうこととした。夏に取ったイノシシを食用として使えるように研究し、地域ブランドとして育てている。イノシシの肉を使った缶詰が好評で、売り上げを伸ばしており、加工関係の仕事として地域おこし協力隊の任期を終えた



美郷町役場

2名が定住、そのほか移住が1名、地元のパート雇用が4名と定住雇用に繋がっている。有害鳥獣対策として捉えるよりも、資源利用によってお金を生むシステム、産業につなげて地域づくりに持つということということで、産業、生きがいといったものを伸ばしながら、食育、教育とも関係させ、トータルで考えていると感じた。

◆島根県江津市（鳥獣害対策について・ビジネスプランコンテストについて）

◎江津市では昭和22年の4万7千人をピークに人口が減少し続けており、現在は約2万3千人まで減少

している。それに伴い、市内の空き家は増加し続けている。そのような状況の中、江津市では空き家を「地域資源」と捉え全国に先駆けて空き家バンク制度の導入を始めた。特徴としては、原則として市外からの移住者を対照とすること、所有者から登録の希望があっても、宅建業者と市の職員で査定を行い、居住不能と判断した物件は登録しないこと、登録2年後には再度査定を行うこと等があげられる。

また、江津市では、工場の倒産、撤退等により、働く場が減少しており、せっかく空き家バンクを利用しても、空き家を紹介しても、仕事を紹介することができない状況になっていた。そこで、働き場を作り出せる人材を呼び込むためにスタートしたコンテストがビジネスプランコンテストである。コンテストは市、信用金庫、商工会、NPO法人が連携して支援をしている。大賞受賞者には100万円の賞金があり、創業資金として利用してもらっている。現在までコンテスト参加者の創業が18件あり、廃業したケースはない。中には法人化して年商が億を超える事業者も出てきているとのことだった。

◆島根県大田市（石見銀山を活用した古民家・空家の活用について）

◎平成19年に世界遺産に登録された石見銀山がある大田市は、大森銀山と温泉津という2つのまちなみがあり、それぞれが世界遺産における重要な構成資産となっている。この2地区については建造物の修理に関して規制があり、外観等で現状を変える場合には許可が必要となる。住民の中には、古い家屋を残すことで生活の部分がどうなるのかといった不安の声も聞かれたが、1棟ずつ修理をする中で、住民の理解も得られ、現在では町全体としてまちなみを残そうという雰囲気になっている。

大森銀山地区は、昨年と比較すると、9名、5世帯が増加しており、もともとは文化財をいかしたまちづくりをどうしていくかというテーマの中で、行政と民間で進めている古民家、空き家活用の結果がでてきているのではないかとのことだった。地元出身の民間会社の社長が、私財をつぎ込んで古民家の改修を行っており、約60軒を改修して現在は社員寮やゲストハウス、定住促進のための賃貸住宅等として使用しており、行政と民間の連携が非常に重要であると感じた。

第2回議会報告会を

開催しました。

平成30年4月27日（金）、滑川市民交流プラザにおいて、第2回目の議会報告会を開催しました。

当日は平日の夜間にもかかわらず、約30人の皆さんにご参加いただきました。

報告会では議長のあいさつに続き、議員の自己紹介、各常任委員会、特別委員会から3月議会での審議結果について説明しました。

特に今回初めて設置された予算特別委員会での審査内容については、多くの時間を使って説明をさせていただきました。

その後、質疑応答、意見交換に移り、参加者からは積極的に質問や、意見、要望をいただきました。

◎議会報告会での主な質疑

問 中滑川の再開発について、駅前
は山側と海側どちらか。

答 特別委員会では駅前を定義せずに周辺の整備を検討しており、目的としては地域の皆さんが自由に使える場所、若者が集える場所にしたい。そして、周辺に健康センターや働く婦人の家があるのでこれらを含めた

複合施設にできないかと検討している。

問 イノシシ対策で金網を設置しているが効果がない。何のためにやっているのか。

答 現地を見てきており、大変な被害で農家の切なる思いも聞いている。できるかぎりの対応として電気柵を設置している。すぐには解決しないかもしれないが、何かいい方法がないかと効果的なものを模索している。



議会報告会の様子

陳 情

件名及び提出者

処理結果

・陳情（3件）

- 1 「中央公民館／教育センター」ロビーの印刷機を一般市民にも使用開放する陳情……………不採択
日本群読教育の会 副会長 毛利 豊
- 2 特別職公務員の日額交通費用弁償を10分の1の公共料金で算定することで税金のムダ使いをやめる陳情……………不採択
市民オンブズ滑川 毛利 豊
- 3 常設型の住民投票条例の制定を求める陳情……………不採択
市民オンブズ滑川 毛利 豊

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第32号	平成30年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案可決
議案第33号	平成30年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第34号	滑川市の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第35号	滑川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第36号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第37号	滑川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第38号	滑川市旅館業の規制等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第39号	滑川市東福寺野自然公園条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第40号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて	総産	原案承認
陳情第4号	「中央公民館／教育センター」ロビーの印刷機を一般市民にも使用開放する陳情	総	不採択
陳情第5号	特別職公務員の月額交通費用弁償を10分の1の公共料金で算定することで税金のムダ使いをやめる陳情	議	不採択
陳情第6号	常設型の住民投票条例の制定を求める陳情	総	不採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
※委員会…総：総務文教委員会、産：産業厚生建設委員会、議：議会運営委員会

賛否一覧表

会 派 議員名 議 案	会 派 自 民				共 産 党 議 員 団		無 会 派							
	原 明	岩 城 晶 巳	中 川 勲	高 橋 久 光	角 川 真 人	古 沢 利 之	大 門 良 輔	大 浦 豊 貴	脇 坂 章 夫	青 山 幸 生	竹 原 正 人	尾 崎 照 雄	浦 田 竹 昭	開 田 晃 江
陳情第4号	/	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●
「中央公民館／教育センター」ロビーの印刷機を一般市民にも使用開放する陳情														
陳情第5号	/	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●
特別職公務員の月額交通費用弁償を10分の1の公共料金で算定することで税金のムダ使いをやめる陳情														

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
全員賛成または全員反対以外の議案についてのみ掲載しています。

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。
市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接傍聴してみませんか。
なお、今号から議員質問の欄にQRコードを掲載しました。ぜひ、議場のやりとりをご覧ください。
詳しくは、事務局までご連絡ください。

【議会報編集委員】
角川真人委員長
大門良輔委員
尾崎照雄委員
岩城晶巳副委員長
竹原正人委員
開田晃江委員

電話 475-2111
(内線 371)

議会報編集委員会から

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
9月3日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
10日(月)	10時	代表、一般質問
11日(火)	10時	一般質問
12日(水)	10時	総務文教消防委員会
13日(木)	10時	産業厚生建設委員会
14日(金)~21日(金)	10時	決算特別委員会
26日(水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決